最近出た本
・読んだ本

Linear Programming in Industry

(fourth edition)

S. ven Dano

1974 Springer-Verlag

1960年に初版がでている．著者は Copenhagen 大学の経営経済学の教授である．計172頁(索引3頁，参考文献2頁(32点)を含む)の内容はつぎのように構成されている．

項番	章	節
I	序　論	会社運営の計画：一般的な問題 線形計画モデル 簡単な例
II	線形計画法についての数学的理論の要素	基本的定理 シンプレックス法とシンプレックス基準
III	実　例	
IV	工業的応用	混合問題 機械容量の最適活用 在庫問題 輸送問題 線形投資計画
V	線形計画問題を解くための計算手順	シンプレックス法 シンプレックス・タブロー 代替最適および二次最良解 計算上の省略 退化の場合 輸送問題を解く手順
VI	線形計画における双対性	双対定理 双対に関する経済的解釈 双対シンプレックス法
VII	感度解析とパラメトリック計画法	感度解析 感度解析に関する実際の事例 パラメトリックな線形計画法
VIII	整数線形計画法	整数計画法とラウンディングによる解 カットによる解：純正の場合 カットによる解：混合の場合 枝路境界手順による解 0－1計画法 コンピュータによる解
IX	分　解	分解と分散計画 直接配置による分解 潜在価格による分解
X	(附　録)	基本定理の証明 シンプレックス基準 シンプレックス・アルゴリズム 双対定理の証明 整数計画法についてのGomoryのアルゴリズム 分解定理

著者の言によれば，本書の意図するところは2つある．その1つは，大学のORや経済の学生のためのLPに関する教科書として，生産やコストの理論とその実際的な応用の面で活用すべきものである．またもう1つは，工業界での技術者，管理者，組織や計画面での責任ある人々に対して，LPの方法論や技法の入門書として有用なものであるべきである．そういった意味で，経済的な最適化問題としてのアプローチを基調としている．

いたるところで具体的な数値事例を豊富に加えながら，平易な説明を行なっており，定理の証明などは附録に一括している．

もともとコペンハーゲン大学，ノルウエー農科大学，イリノイ大学などでの講義にもとづいて書いたものである．1960年の初版に対して，1974年の第4版としては，新たに整数計画法や分解の章を附加し，また各章の細部にわたっての修正や新規事項の追加をいろいろと行なっている．その結果，LPについての入門書としての活用価値は十分に高いものとなっている．

なお，コンピュータ・プログラムについては，まったくふれていないので，その点には注意して利用したほうがよいと思われる．

(菅野　文友　岩手大学工学部情報工学科)

© 日本オペレーションズ・リサーチ学会．無断複写・複製・転載を禁ず．